秀次倶樂部

2019.11
秀次倶楽部
会　報
vol.26

発　行：NPO法人 秀次倶楽部　滋賀県近江八幡市大杉町30-1　TEL（0748）33-2914／FAX（0748）32-3514（ラビットハウス内）／E-mail　club@hidetugu.jp

《事業報告》

「市長と語る会」

7月19日に喜兵衛にて開催しました。小西市長からは市政について、歴史まちづくり計画として、歴史的資産をどのように活用するかを河川、道路を含めた都市計画を考えていく。新しい付加価値はものづくりではなく、まちの風景が醸し出す歴史や文化であり、若い人が住んでくれるまち、居着くひとを育てる地域教育、ひとづくりに取り組んでいく。また、地盤や水の問題もあり、工場誘致は難しく、古くからの文化や歴史、琵琶湖、西の湖などの自然環境や観光農業として食を含めた文化を活用していく。などのお話を頂きました。こちらからは、「八幡開町の日」の制定について説明し、市長は秀次公についてはまちの宝であり、見直す必要がある。市としても協力していきたいと言われました。その後も、食事をしながらの歓談が続きました。

「ほっとらいん」演奏会　9月27日

NPO「りあすの森」の依頼で、石巻市北上小学校で演奏会が開かれました。当倶楽部からも3名が同行しました。前日から入って、宿泊先でりあすの森の皆さんと夕食を共にし、交流することが出来ました。当日は「ほっとらいん」のお二人が子ども向けの曲も入れて、数曲演奏されました。五、六年生が対象でしたが、途中から低学年の子供たちも加わって、最後に学校の校歌を元気いっぱい歌ってくれました。大変感動的なすばらしい演奏会となりました。

「八幡開町の日」記念事業

八幡開町の日とする10月15日に「秀次談義」を開催しました。基調講演として長浜城歴史博物館前館長の太田浩司さんに「八幡山城と秀次」と題して主に八幡の城下町の成立についてご講演頂きました。築城以来の町の発展を八幡山下町中掟書と関連付けられ、廃城後も商人町として発展を続け、現在も城郭、堀、城下町と全てに残っていることは類が少ないと説かれました。続いてのパネルディスカッションでは、コーディネータの井戸さんが開町の日制定ついて説明された後、パネリストの烏野さんからは、築城以前の町の様子と築城後の町への影響、城下町の発展と秀次公の関係など、成澤さんからは秀次公の為人を奥羽平定時の山形城入りと駒姫との出会いを通じてお話くださいました。また、会場からも様々なご意見を頂き、今後の事業展開に大きな弾みとなりました。

尚、12日の子ども武者行列は台風接近の為、残念ながら中止となりました。

手作り甲冑教室

4月から作り始めていますが、まだ完成には至りません。どの工程も大変難しくなかなか進みませんが、徐々に形に成っていくと楽しみも感じられます。年内に出来るでしょうか、もう少しお待ちください。写真は西川さん作です。（製作途中）

●体験イベント

「西の湖と葦を学ぼう」

8月に開催を予定していましたが、参加希望が大変少なくてやむなく延期としましたが、今回少し内容を変えて以下の日程で改めて開催することとなりました。また、同日夕方から忘年会も計画しています。案内を同封しますので、ご参加、ご協力よろしくお願いします。

開催日時　12月14日(土)　10時開会
開催場所　びわこ揚水
（丹波喜徳氏／柳澤一芸氏が指導）

●会費納入について

今年度の会費が未納の方は、至急に事務局にお持ちいただくか、左記に振込んでください。なお、昨年の会費についても未だの方は一緒にお願いします。

【振込み先】
滋賀中央信用金庫（店番）180
（口座番号）0221141
特定非営利活動法人　秀次倶楽部
理事長　高木茂子